

## 持続可能な社会の実現に向けて

私たちNTT西日本グループは、光ブロードバンド市場の発展により世界中がコビキタスな情報ネットワークでつながる社会の実現を目指して、事業活動を展開しております。NTT西日本グループの提供する「安心・安全・信頼」のITサービスは、循環型社会構築のためのインフラとして必須であり、人やモノの移動などによるエネルギー消費を削減することができ、社会全体をより環境負荷の少ない方向へと導くことができます。

一方、我が国をはじめとする先進各国は、20世紀までの大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会を見直し、持続可能な社会経済システムを構築していくことが求められています。21世紀は、経済活動を環境の観点から見直し、廃棄物をゼロにするゼロエミッション型の循環型社会へ変革していくことが、現代を生きる私たちの課題です。また、地球温暖化防止を目指す京都議定書が、ロシアの批准により早ければ来春にも発効されることから、温室効果ガスを排出する企業の削減努力が今後より一層厳しく評価されることが予想されます。さらに、地域社会への貢献・企業倫理なども含めた企業の社会的責任(CSR)への関心も高まっており、事業収益向上のみならずCSRの観点からも確固たる成果を挙げていくことが企業存続の条件であると考えます。

NTT西日本は、発足後5年が経過しましたが、紙資源・CO<sub>2</sub>排出・廃棄物の各環境負荷項目には中長期の削減目標を掲げて実行管理するなど、厳しい経営環境の中、堅実に環境保護対策を進めています。その結果、純正パルプ使用量と産業廃棄物廃棄量は、年々着実に削減してきております。温暖化対策については、電話網からインターネット網へのネットワークの急激な構造変革により通信電力需要が増大しており、省電力化施策を強力に推進していますがCO<sub>2</sub>排出量は微増傾向にあり、CO<sub>2</sub>排出量抑制への更なる取り組みが喫緊の課題と考えています。

NTT西日本では、事業活動に伴う環境側面、それに対する取り組みの方針、活動状況などをご報告するために2000年度より環境報告書を発行しており、今年で5回目になります。この報告書をご一読いただき、私たちの環境保護活動をご理解頂くとともに、ご意見等をお聞かせ頂ければ幸いです。今後も引き続き、全社一丸となり、高い志と情熱のもと、地球環境への負荷低減を目指し、環境経営を推進する所存です。

2004年 10月

代表取締役社長

森下俊三

